

平成26年 愛知県の全産業死亡災害一覧

確定版

愛知労働局 労働基準部 安全課

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起 因 物	災 害 状 況
1	1月 16:30 ～17:00	製造業	10 ～29	作業員	60代	2年	はさま れ、巻 き込ま れ	コンベア	被災者は、間伐材等の破砕機の投入コンベア横で、異物を取り除く作業に従事していたが、同僚にコンベアの停止を指示し、破砕機下部のフライトコンベヤーに向かった。その後、被災者が心肺停止状態でフライトコンベヤーで運ばれてくるのを発見した。
2	1月 4:30 ～5:00	商業	10 ～29	配達員	10代	1年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	バイクで配達を行っていた被災者が、一時停止標識のある道路から信号のない交差点に進入したところ、優先道路を走行していた軽四貨物車と出会い頭に衝突したものの。
3	2月 10:30 ～11:00	製造業	10 ～29	作業員	40代	1年	交通事 故(道 路)	トラック	ロードサービスの依頼を受け積載車で高速道路上の現場に向い、救援対象車の後方路肩に停車した。車から降りて積載車の前で救援対象車のドライバーと話をしていた際に、後方からトレーラーが積載車に追突したため、押し出された積載車に被災者がはねられたもの。
4	2月 9:30 ～10:00	建設業	50 ～99	運転者	20代	7年	墜落、転 落	移動式 クレーン	河川護岸工事で、土手の擁壁のコンクリート打設作業において、クレーン仕様付車両系建設機械で、コンクリート打設用のホッパーをつり上げ、旋回している時に車両が転倒し、運転者と車両が河川に転落したものの。
5	2月 13:00 ～13:30	製造業	30 ～49	作業員	50代	7年	墜落、転 落	石、砂、 砂利	サイロ内に入り、砂に埋まったもの。
6	2月 18:00 ～18:30	製造業	100 ～299	作業員	60代	6年	はさま れ、巻 き込ま れ	フォーク リフト	走行中の車両系荷役運搬機械の左前輪に巻き込まれたもの。
7	2月 8:00 ～8:30	教育・研究業	30 ～49	作業員	60代	7年	はさま れ、巻 き込ま れ	乗用車、 バス、バ イク	事業場の専用駐車場で車両誘導中、誘導していた車が猛スピードでバックしたためその車に轢かれ、その車とともに隣地の田んぼに転落、車の下敷きになったもの。
8	2月 3:00 ～3:30	運送業	100 ～299	運転者	40代	15年	交通事 故(道 路)	トラック	高速道路で、トラックに接触したため路側帯に停車し、警察の到着を待っていたところ、別のトラックが、停車中のトラックに追突し、車外に出て路側帯にいた被災者が追突事故の巻き添えとなったもの。
9	2月 10:30 ～11:00	通信業	100 ～299	配達員	50代	8年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	被災者が、自動二輪車を運転して信号の無い交差点に進入したところ、交差点右側から直進してきた4トントラックと出会い頭に衝突したものの。
10	2月 12:30 ～13:00	商業	10 ～29	作業員	40代	1月	感電	電力設 備	トランスを撤去する作業中、トランスの上方にある充電回路(交流6600ボルト)に接触したものの。
11	2月 5:30 ～6:00	建設業	1 ～9	作業員	10代	1年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	国道の交差点において、被災者が乗るワゴン車が、右折しようとしていた大型トラックの左側面に衝突したものの。
12	3月 9:00 ～9:30	鉱業	10 ～29	管理者	60代	8年	おぼれ	掘削用 機械	ドラグショベルを運転して、湖に続くスロープ(延長約66.5m、勾配13～15度)を前進で下っていたところ、湖岸で停止せず湖内に進入し、溺死したものの。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
13	3月 23:30 ～24:00	製造業	50 ～99	作業員	40代	8年	はさま れ、巻 き込ま れ	鉄道車 両	構内において、テレコン装置により軌道車を操作して軌道車に連結した台車を移動させていた際に、移動していた台車の前面ステップが被災者の脚部に接触してレール上に転倒した。転倒後、起き上がろうとしたが台車の車輪に腹部を轢かれ死亡した。
14	3月 13:00 ～13:30	建設業	30 ～49	作業員	30代	9年	その他	起因物 なし	平成26年3月31日午後1時20分頃、排水処理設備移設増設工事現場内にて、被災者が倒れている状態で発見された。被災者は、同日午後1時30分、心肺停止状態で、病院に救急搬送されたが、同日午後3時00分、同病院にて死亡した。
15	4月 10:00 ～10:30	建設業	30 ～49	鉄骨工	70代	5年	墜落・転 落	開口部	建設工事現場において、地下中2階の床面にデッキプレートを敷設する作業中、開口部に掛け渡したデッキプレートの上を通行しようとしたところ、デッキプレートとともに約7m下の地下2階床面から立ち上げられた鉄筋の上へ墜落し、約1時間半後に死亡した。
16	4月 14:30 ～15:00	建設業	30 ～49	解体工	60代	3年	はさま れ、巻 き込ま れ	解体用 機械	家屋建替工事現場にて、解体用機械(つかみ機)を使用して家屋の解体作業中、廃材を移動させるため解体用機械を左旋回させた際、違和感を感じたため、右旋回し確認したところ、散水作業を行っていた被災者が倒れていることを確認し、その後、搬送先の病院で死亡した。
17	4月 9:00 ～9:30	清掃・と畜業	30 ～49	運転者	50代	1年	墜落・ 転落	トラック	廃棄物中間処理施設にて、ダンプカーに積載した泥を深さ3.5メートルのピットに荷卸しする際に、ダンプカー荷台後部のあおりに設置された2個のロックのうち1個を取り外さずにダンプアップしたため、泥が荷台後部に偏り、ダンプカーが回転してピット内に墜落し運転席にいた被災者が死亡した。
18	4月 14:00 ～14:30	製造業	10 ～29	作業員	40代	2年	爆発	可燃性 ガス	被災者は、プレスにて金属くずの押しつぶし・成形作業を行っていたところ、爆発が起き死亡した。
19	4月 7:00 ～7:30	製造業	30 ～49	製造工	40代	17年	崩壊・ 倒壊	金属材 料	工場において、派遣労働者である被災者が給材架台上の番線結束された溝型鋼(長さ620cm、幅20cm、高さ10cm、重量190kg)14本の束の番線を外したところ、同鋼材が被災者側に崩されてきて、後ろに置かれていた別の溝型鋼の束との間に胸部等を挟まれて窒息により死亡した。
20	5月 22:00 ～22:30	清掃・と畜業	10 ～29	作業員	20代	3年	はさま れ、巻 き込ま れ	コンベア	破碎設備1号機投入材料搬送用平コンベアのリターンローラーに付着した粉が気になり、ワイヤブラシを使用して、当該ローラーを清掃中、ブラシとともに腕から胸にかけて巻き込まれた。
21	5月 14:30 ～15:00	清掃・と畜業	1 ～9	作業員	60代	10ヶ月	はさま れ、巻 き込ま れ	コンベア	被災者は、廃棄物の選別を行うコンベアの清掃を行うためにコンベアの上に乗って作業を行っていたが、コンベアの上に設置している磁選機とコンベアの間でうづぶせになって倒れているのを、他の労働者が発見し、病院に搬送後治療を受けていたが、平成26年6月9日午前6時に死亡した。
22	5月 22:00 ～22:30	製造業	30 ～49	技能者	50代	17年	はさま れ、巻 き込ま れ	その他 の一般 動力機 械	自動包装机で界面活性剤を袋に詰める作業をしていたところ、何らかの原因で袋が詰まり動かなくなったため、包装机の安全囲いを開けて内部に入ったところ、駆動部に頭を挟まれ、翌日2:50に班長が発見した。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
23	5月 22:30 ～23:00	建設業	10 ～29	作業員	50代	20年	墜落・ 転落	その他 用具	照明取替工事において、高さ約30mの駐車場ビルの外壁に設置されている照明設備(地上高約7mの位置)の電球交換を行うため、安全带取付用親綱が設置されていない状態で高所作業用ブランコに乗り、屋上から0.8m位置まで降りたところで、当該ブランコを保持していたロープが切れ、当該ブランコもろとも地上へ墜落し死亡したものの。
24	6月 15:30 ～16:00	建設業	10 ～29	設備機 械工	30代	5年	はさま れ、巻 き込ま れ	クレーン	大型設備分解整備作業において、使用していた天井クレーンが走行方向の安全装置(近接防止装置)の故障、誤作動により、北向き走行の操作が不能となったため、被災者がクレーン走行サドル部分の安全装置の点検を行ったところ、走行動作をしたクレーンと歩道手すり補強材に頭部を挟まれたものの。
25	6月 15:00 ～15:30	製造業	30 ～49	貨物自 動車運 転者	40代	21年	激突	移動式 クレーン	土場に保管してある木材を車載型グラブに積み込むため、操作席に向かおうと、階段状のステップの1段目に右足をかけようとしたところ踏み外し、ステップの角に右ひざを打ち付け筋断裂の負傷を負った。その後、その負傷が引き金となり、約1ヶ月後に肺塞栓症が発症し死亡に至った。
26	6月 16:00 ～16:30	建設業	1 ～9	土工	60代	28年	激突さ れ	掘削用 機械	コンビニ店舗の解体工事現場において、躯体解体後に残った土間コンクリートを、0.45立米のドラッグショベル(スケルトンバケット)を使用して解体する作業を行っていたところ、バケットが被災者に接触し被災した。
27	6月 15:30 ～16:00	建設業	10 ～29	解体工	60代	9年	はさま れ、巻 き込ま れ	掘削用 機械	木造家屋の解体工事現場において、解体した材料の分別作業を行っていたドラッグ・ショベルの後方で、木くずを拾い集めていた被災者が、後退してきたドラッグ・ショベルに轢かれたものの。
28	6月 15:00 ～15:30	運送業	50 ～99	運転者	30代	3年	その他	起因物 なし	高速道路出口付近を走行中、急に胸が苦しくなった。会社に連絡をして少し休むように指示を受け、その後、現地に駆けつけた社員2名と共に病院へ向かい、入院となった。(平成26年5月16日)その後、平成26年6月16日に死亡。
29	6月 16:00 ～16:30	運送業	10 ～29	運転者	40代	2年	転倒	移動式 クレーン	移動式クレーン(2.93t)を使用して、2階建プレハブの運搬作業中に、4分割されたプレハブ(重量約1.7t)を吊り上げ、後方旋回させてトラックの荷台に載せようとしたところ、移動式クレーンが転倒し、移動式クレーン運転士がトラックとの間に挟まれた。
30	7月 23:30 ～24:00	建設業	10 ～29	作業員	50代	1年	飛来・ 落下	その他 の仮設 物、建築 物、構築 物等	掘削により発生した土砂をベルトコンベアにより排出し、鉛直方向に固定したコルゲートパイプを通して約6m下方の床付面に設置したベルトコンベアに自然落下させていたところ、コルゲートパイプに土砂が詰まったため、被災者が詰まった土砂を取り除いていたところ、コルゲートパイプ(土砂を含め約1.3t)が急に抜け落ち、被災者に激突した。
31	7月 9:00 ～9:30	警備業	50 ～99	警備員	70代	16年	交通事 故(道路)	トラック	ガス管敷設工事において1次下請事業場所属の作業員が運転する2トントラックが荷卸しを終え、後退する際、警備員である被災者を轢き、被災者が死亡したものの。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経験	事故 の型	起因物	災害状況
32	8月 19:00 ～19:30	通信業	100 ～299	郵便外 務員	60代	1年	交通事 故(道 路)	人力運 搬車	配達を終え、自転車で帰局途中、上り勾配の道路左車線の路側帯を南から北へ直進していたところ、バランスを崩し、路側帯の左下約2メートルの水田へ転落した。
33	8月 13:30 ～14:00	その他の事 業	100 ～299	作業員	50代	39年	激突さ れ	トラック	コンテナ埠頭パースのエプロンにおいて、綱とりのため、綱に補助ロープを緊結し2トントラックの前部けん引フックに取り付けて、後進してけん引していたところ、綱が引っかかった。このため、別の補助ロープをけん引フックに付け替えようと、車両誘導する同僚3名のいる約11m先に向けて前進徐行したが、3名に激突したものの。
34	8月 7:00 ～7:30	その他の事 業	30 ～49	作業員	30代	6年	その他	起因物 なし	出張業務にて被災者が集合場所に現れなかったため、宿泊先のビジネスホテル室内を確認したところ、被災者が倒れていた。消防のレスキュー隊員により、死亡が確認された。
35	8月 11:30 ～12:00	建設業	1 ～9	大工	40代	10年	墜落・ 転落	作業床・ 歩み板	屋根の補修工事中、約10mの高さからスレートを踏み抜いて墜落。
36	8月 15:30 ～16:00	建設業	1 ～9	塗装工	60代	44年	墜落・ 転落	足場	改修工事において、被災者が、ステージ足場上での東壁面塗装作業を終え、ビニール養生を撤去していたところ、足場から2階の歩廊に墜落し意識不明の重体で救急病院に搬送され、同年9月3日午前2時死亡した。
37	8月 8:00 ～8:30	建設業	30 ～49	土工	40代	24年	はさま れ、巻 き込ま れ	トラック	工事現場敷地内において、敷鉄板搬入のため、運送業者の運転者が積載形トラッククレーン(最大積載量9.7トン)を後退させていたところ、1次下請事業場の現場作業員が同トラッククレーンの後方荷台部分とドラグショベルのバケットの間に挟まり、死亡したものの。
38	8月 16:00 ～16:30	商業	1 ～9	作業員	70代	50年	はさま れ、巻 き込ま れ	フォーク リフト	被災者は、店舗倉庫入口の庇(ひさし)の下で、フォークリフトのフォークにパレットを差し込み、その上に乗って、当該フォークを上昇させたが、バックレストと庇屋根の波板の間に胸部を挟まれた。
39	8月 13:00 ～13:30	商業	1 ～9	販売員	30代	15年	はさま れ、巻 き込ま れ	エレベ ータ、リフト	被災者は、倉庫内にて、荷物用エレベーター(積載荷重不明)の搬器(扉なし)にタイヤ12本を乗せ、自らも当該搬器に乗り2階へ上がったが、2階へ到達する間に、被災者の身体が昇降路囲いの開口部から外にはみ出る姿勢になり、搬器の床面と倉庫2階床裏面の間に胸部を挟まれたものの。
40	9月 3:00 ～3:30	製造業	300 ～	作業員	20代	9年	飛来・ 落下	クレーン	移動式台車の上に設置されている金型プレート(プレートの上に複数の金型が取付られている。総重量8.7トン)を天井クレーン(吊り上げ荷重15トン)で吊り上げていたところ、当該クレーンのワイヤーが切れ、金型プレートが落下し、金型の一部(約2トン)が台車に当たりバウンドして当該クレーンの運転士の方向に飛来し、上半身が金型の下敷きとなった。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起 因 物	災害状況
41	9月 17:00 ~17:30	製造業	10 ~29	技能者	60代	8年	飛来・ 落下	玉掛用 具	被災者がつり上げ荷重1トンの床上操作式クレーンを用いて重さ推定600キロの鋼管棚をつり上げようとしたところ、玉掛用具であるベルトスリングが切断したことで当該鋼管棚が被災者に激突して死亡したものの。
42	9月 3:30 ~4:00	商業	50 ~99	販売員	40代	20年	交通事 故(道 路)	トラック	エンジンプローで路肩に停車中の大型トラックに追突。運転手は全身打撲のけが。同乗していた被災者が頭を強く打ち死亡した。
43	9月 11:00 ~11:30	清掃・と畜業	10 ~29	清掃員	70代	2ヶ月	墜落・ 転落	階段・さ ん橋	当該作業場の地上から地下にあるプールへと続く階段の清掃作業を行うため、地下から階段をのぼる際、階段の下から2段目に足をのせた時にバランスを崩し、真後ろに転倒し頭部を強打した。一時的に意識を失っていたが、意識を取り戻したが、その後、様態が悪化し、死亡した
44	9月 5:30 ~6:00	接客娯楽業	1 ~9	管理者	30代	7年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	飲食店の業務終了後、帰宅ついでに同僚(他店舗)に頼まれた調味料を届けるためバイクで走行中、交差点(信号なし相手方の道路は一旦停止義務あり)で乗用車にひき逃げされ負傷。11日後に死亡したものの。
45	9月 4:00 ~4:30	商業	10 ~29	商業	50代	6年	その他	起 因 物 なし	取引先に商品を引き取りに2tトラックを運転していった。取引先到着直後に気分が悪くなり、救急車で病院に搬送されたものの、翌日、脳幹出血にて死亡したものの。
46	9月 15:00 ~15:30	商業	10 ~29	配達員	70代	28年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	新聞(夕刊)を駅に取りに行き、乗用車へ積載後に店舗へ向かっていた際、住宅の塀に衝突し、胸部を強打し死亡したものの。
47	9月 1:00 ~1:30	その他の事業	10 ~29	事務員	20代	5ヶ月	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	東名阪自動車道下り線で、被災者が運転する車が何らかの事故で停車した後、被災者が走行車線と追い越し車線の間立っていたところ、乗用車にはねられ死亡したものの。
48	10月 15:00 ~15:30	建設業	10 ~29	作業員	30代	6年	墜落・ 転落	建築物・ 構築物	橋梁補修工事において、アーチ部に吊足場を設置する作業中、吊チェーンの取り付け箇所の確認のためにアーチ上面に上った被災者が滑落し、約15メートル下の道路上に墜落したものの。
49	10月 9:00 ~9:30	接客娯楽業	50 ~99	作業員	60代	5ヶ月	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	被災者は同市内にある支店へ荷物を受け取るために普通貨物自動車運転して、国道上を走行中に、何らかの原因でセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突して被災したものの。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起 因 物	災害状況
50	10月 12:30 ～13:00	製造業	300以上	作業員	50代	19年	はさまれ、巻き込まれ	クレーン	自動車シート自動搬送装置(スタッカークレーン)で異音発生に伴う異常確認のため、被災者は、自動運転中であった同装置点検用架台の手すりに乗る、同装置上部で異音発生の有無を確認しようとしたところ、自動運転により同装置が被災者後方側に走行し始めたため、被災者頭部が同装置の上部フレームと工場建屋の梁に挟まれた。
51	10月 16:00 ～16:30	建設業	10 ～29	移動式 クレーン 運転者	60代	43年	転倒	移動式 クレーン	資材置き場において、移動式クレーン(車両積載形トラッククレーン、つり上げ荷重2.93t)を使用して敷鉄板(重量1.37t)を移動させるため、車体側方で吊り上げ、車体後方に向け旋回させたところ、当移動式クレーンが吊り荷側に転倒し、トラックの荷台とキャビンの間で当移動式クレーンを操作していた被災者がキャビンの下敷きとなったもの。
52	10月 12:30 ～13:00	製造業	10 ～29	作業員	30代	7年	はさまれ、巻き込まれ	フォーク リフト	被災者は最大荷重2tのフォークリフトを運転し木材の端材が入った鉄箱(重量約400kg)の運搬作業中に、フォークが下降しなくなったため、当該フォークを上昇させて鉄箱の直下に入りマストの下部を点検していたところ、下降してきたフォークと地面の間に頭部がはさまれたもの。
53	10月 16:30 ～17:00	清掃業	50 ～99	清掃員	70代	11年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合掌	契約先ビルの調理部屋中央明かり取り用の窓に日差しよけビニールを付けようと脚立を使って高さ5メートルの梁に上がったところ、転落し、後頭部を強打して死亡した。
54	10月 20:30 ～21:00	製造業	50 ～99	鋳物工	30代	15年	墜落・ 転落	混合機、 粉碎機	鋳造用の砂の混練機(高さ約2.65m、直径約2.54m)に異常の発生があり、確認のため混練機上部の修理扉を開けて内部確認を行おうとしたところ、混練機内に墜落し、混練機に巻き込まれた。
55	11月 19:30 ～20:00	建設業	10 ～29	技術者	40代	22年	その他	起 因 物 なし	死亡者(派遣労働者)は平成24年5月より現場事務所で施工図作成、図面確認等の業務に従事。 平成26年10月6日、同事務所で業務打合中に呼吸困難となり救急車を要請。急性大動脈解離と診断され同日手術するも平成26年11月9日に死亡。
56	11月 14:00 ～14:30	清掃・と畜業	1 ～9	作業員	60代	2年	墜落・ 転落	作業床・ 歩み板	被災者ら数人が、倉庫中2階の端部に木製手すりを設置する作業を行っていたところ、足を踏み外して約3m下の1階床面へ墜落したもの。被災後19日目にあたる12月4日午後4時10分、脳挫傷により死亡。
57	11月 15:30 ～16:00	建設業	1 ～9	とび工	10代	1年	おぼれ	足場	橋の補修工事のための、吊り足場の延伸工事中、吊り足場の工事先端から、約12メートル下の河川に、足場部材ごと墜落した。
58	11月 8:30 ～9:00	清掃・と畜業	10 ～29	作業員	20代	6年	はさまれ、巻き込まれ	トラック	塵芥収集車(パッカー車)により、ペットボトルの巡回回収作業を2名の労働者で行っていた。回収を終え、次の回収場所に向かおうとした際に、被災労働者がペットボトル以外の異物(ガラス瓶)を発見し、取り除こうとしたところ、もう一人の労働者が運転席に向かいながらパッカーの起動ボタンを押したため、被災労働者が頭部を挟まれたもの。

No.	発生月 発生時	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
59	11月 17:00 ~17:30	建設業	1 ~9	大工	50 代	36 年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合掌	2階建木造住宅新築工事現場にて、2階梁上で根太を並べる作業を行っていた労働者が、3. 68メートル下のコンクリート床へ墜落したものの。
60	12月 8:30 ~9:00	運送業	1 ~9	運転者	40 代	10 年	はさま れ、巻 き込ま れ	トラック	被災者が2tトラックを運転して配送先にて荷降ろしを行っていたところ、停車していたトラックが動き出したため、前方に回って止めようとして、道路側面にある隣家の門柱とトラックの間ではさまれたもの。被災者は、頭部を負傷し、同日中に死亡した。
61	12月 17:00 ~17:30	建設業	10 ~29	型わく 工	70 代	8年	交通事 故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	作業場から事務所に戻るため被災者は、バイクを運転して信号のある交差点を前車に続いて右折したところ、対向車線を直進して交差点に進入してきた相手車と交差点内で衝突したものの。